

2026年7月吉日

リープトンエネルギー株式会社

リープトンエネルギー 防眩タイプ太陽電池モジュールを発売

リープトンエネルギー株式会社（代表取締役：周 鳴飛、本社：兵庫県神戸市）は、反射光を抑え、住宅用ニーズに対応した防眩タイプ太陽電池モジュールを2026年7月1日から発売いたします。

当社防眩タイプ太陽電池モジュールは、光沢度 0.8GU（60度）という極めて低いグレア特性を有し、太陽光による反射光の影響を低減します。当社従来製品においてもAR（反射防止）コーティングを採用し反射低減を図ってきましたが、本製品では表面処理技術をさらに高度化することで、反射光制御性能を一段と向上させています。

■防眩タイプ太陽電池モジュールのメリット

(1) 住宅密集地などでの光害リスクの回避

太陽電池モジュールは、受光面であるガラス表面において太陽光の一部が反射する特性を持ち、設置条件によっては周辺環境への影響が懸念されることがあります。本製品は反射光の発生を抑制する設計を採用することで、こうした太陽光パネル特有の光害リスクの低減に寄与し、住宅密集地などにおいても周辺環境への配慮を可能とします。

(2) 「北向き設置」という新しい選択肢でスペースが広がる

従来、太陽光パネルは南向き設置が一般的とされてきましたが、設置条件や周辺環境への配慮から、設置方位の選択肢が求められる場面も増えています。本製品は反射光を抑制する防眩設計により、北向き設置においても周辺への光害リスクを低減し、設置方位の選択肢拡大と有効なスペース活用に貢献します。

(3) 設置計画や近隣説明を円滑に進めやすい

反射光への配慮により設置方位の選択肢が広がることで、設置条件の制約を受けにくく、敷地形状や建物配置に応じた柔軟なレイアウト設計が可能となります。

当社では、自社工場生産による高性能かつコストパフォーマンスに優れた太陽電池モジュールや野立架台の製造をはじめ、太陽光発電システム搭載カーポート、パワーコンディショナなどの販売、自社発電所の開発など太陽光発電をトータルでご提案してまいります。

■仕様について

片面発電

防眩タイプ

LP182*182-M-54-NH(防眩タイプ)

出力範囲 430-440W

■電気的仕様

👑おすすめ

公称最大出力	430W	435W	440W
公称開放電圧	38.57V	38.72V	38.87V
公称短絡電流	14.09A	14.18A	14.27A
公称最大出力動作電圧	31.76V	31.89V	32.05V
公称最大出力動作電流	13.54A	13.64A	13.73A
モジュール変換効率	22.0%	22.2%	22.5%
実行変換効率(J-PEC基準)	24.1%	24.4%	24.6%

■部材仕様

質量	20.3kg	ジャンクションボックス	防水等級IP68
モジュールの寸法	1722×1134×30mm	フレーム	アルミ合金
セル枚数	108枚 2×(9×6)	ケーブル(※1)	1100mm
セルの寸法	182×91mm	コネクタ	MC4 または MC4相当
最大システム電圧	1500V	火災安全等級	Class C

(※1) 他の長さもご用意できます。

■リープトンエネルギー株式会社について

会社名	リープトンエネルギー株式会社 (Lepton Energy Co.,Ltd)
設立年月	2012年7月
資本金	4億9999万円
本社所在地	兵庫県神戸市中央区相生町1丁目2番1号 東成ビルディング6F
事業内容	太陽光発電システムの開発・販売 太陽電池モジュールの製造・販売 太陽光発電システム取付部材(架台・基礎杭)の製造・販売 太陽光発電所の設置・管理・メンテナンス
ホームページ	http://www.leptonenergy.jp